

週報①

広島市医師会臨床検査センター受託分 感染性胃腸炎検出状況

検出菌 ウイルス	6月												7月							11月		
	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月 ~5日	11月 ~12日	11月 ~19日			
カンピロバクター	99	99	47	48	99	77	32	30	46	63	57	67	75	49	29	47	8	16	10			
病原性大腸菌	90	30	53	40	44	45	81	37	55	103	120	108	102	56	52	49	15	17 (3)	18			
腸管出血性大腸菌	1	10	2	0	2	0	0	1	4	1	0	1	0	1	1	0	0	0	0			
サルモネラ	3	16	12	12	14	5	3	2	2	7	7	13	25	6	12	15	1	2	2			
黄色ブドウ球菌 MSSA	22	26	19	13	20	18	11	10	13	14	21	8	12	15	18	21	2	7	5			
黄色ブドウ球菌 MRSA	9	17	18	15	16	20	14	10	14	15	14	10	11	11	9	5	4	1	2			
腸炎ビブリオ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0			
その他	3	4	1	5	4	1	2	1	2	0	0	4	8	2	1	0	0	1	0			
ロタウイルス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			
アデノウイルス	1	5	7	3	2	2	6	0	1	2	2	2	0	0	0	0	0	0	0			
ノロウイルス	0	1	0	0	0	1	2	11	6	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0			

()は前回集計後に新たに検出された件数を含めて表示しています。

週報②

広島県感染症・疾病管理センター(ひろしまCDC) 感染症週報

令和5年第46週(11月13日~11月19日)

2 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類感染症発生状況

類別	報告数	疾患名	計	西部	西部東	東部	北部	広島市	呉市	福山市
一類	0	発生なし	0							
二類	8	結核	8	1	3	1		1		2
三類	1	腸管出血性大腸菌感染症	1		1					
四類	2	日本紅斑熱	1						1	
		つつが虫病	1	1						
五類	12	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	3					1	1	1
		バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1					1		
		水痘(入院例)	1					1		
		梅毒	7					4		3

注) 西部…大竹市、廿日市市、府中町、海田町、熊野町、坂町、安芸高田市、安芸太田町、北広島町、江田島市
西部東…竹原市、東広島市、大崎上島町
東部…三原市、尾道市、世羅町、府中市、神石高原町
北部…三次市、庄原市

● 詳しい流行状況は、広島県感染症・疾病管理センターのホームページをご覧ください。 <https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/>

■コメント

1 インフルエンザ

定点当たり19.44人の報告があり、多い状況が続いています。また、インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等が44件報告されています。手洗い、咳エチケット、適度な湿度の保持、換気などの感染予防対策を徹底しましょう。

2 咽頭結膜熱

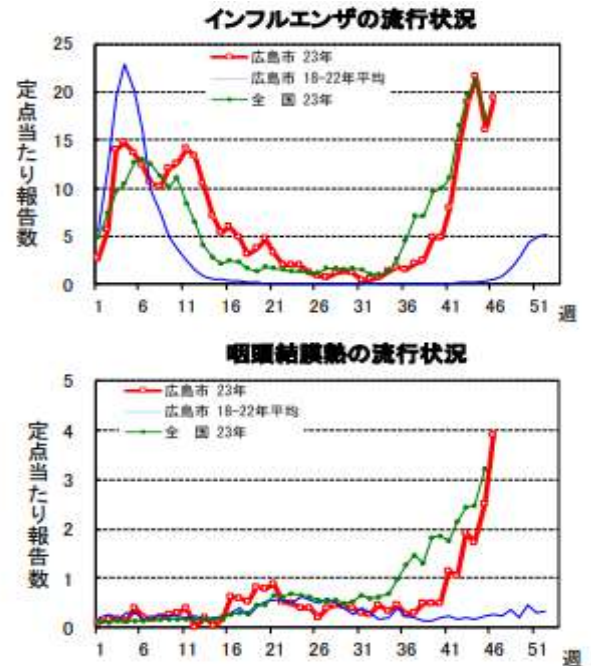
定点当たり3.91人の報告があり、前週の約1.6倍に増加しました。県内では、西部東保健所管内で定点当たり7.33人(第45週)と警報開始基準値(定点当たり3)を上回ったため、広島県は11月16日、県内に「咽頭結膜熱警報」を発令しました。手洗いの励行、タオルの共用は避けるなど、感染予防を心がけましょう。

3 A群溶血性レンサ球菌咽頭炎

定点当たり4.74人の報告があり、多い状況が続いています。感染予防には、患者との濃厚な接触を避けることや、手洗いなどが有効です。

4 新型コロナウイルス感染症(COVID-19)

定点当たり1.14人の報告があり、前週と比べると横ばいです。引き続き、基本的な感染対策を徹底しましょう。



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間(注)	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均過去5年間	発生記号
インフル	インフルエンザ	700	19.44	0.55	↗	小児科	ヘルパンギーナ	4	0.17	0.31	
	新型コロナ(COVID-19)	41	1.14		↔		流行性耳下腺炎	-	-	0.06	
小児科	RSウイルス感染症	1	0.04	0.22		眼科	急性出血性結膜炎	-	-	-	
	咽頭結膜熱	90	3.91	0.25	↗		流行性角結膜炎	5	0.63	0.40	
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	109	4.74	1.33	↗	基幹	細菌性髄膜炎	-	-	-	
	感染性胃腸炎	118	5.13	4.14	↗		無菌性髄膜炎	-	-	-	
	水痘	7	0.30	0.19			マイコプラズマ肺炎	-	-	0.11	
	手足口病	22	0.96	0.87	↗		クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-	
	伝染性紅斑	-	-	0.12			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	-	
	突発性発しん	9	0.39	0.32							

急増減 ↑ (赤) ↓ (青) 前週と比較しておおむね1:2以上の増減

増減 ↗ (黄) ↘ (青) 前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減

微増減 ↗ (白) ↘ (白) 前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減

横ばい ↔ (白) ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ/COVID-19定点数(小児科定点を含む)	36
小児科定点数	23
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	111	70歳代
5	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	1	10	50歳代
5	水痘(入院例に限る)	1	5	10歳未満
5	梅毒	4	252	20歳代・2人、30歳代・推定感染地域: 国外・1人、50歳代・1人
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	10	70歳代